

乳がん検診は 命を守る習慣です。

「自分は大丈夫」と思っていませんか？



乳がんは日本人女性で最も多い。

乳がんは、女性がかかるがんの中で第1位(2023年)、死亡数では第4位(2021年)となっており、食生活の変化や出産・授乳の機会の減少などの影響で年々増加し、今では日本人女性の9人に1人が乳がんになると言われています。

	1位	2位	3位	4位	5位
がん罹患数	乳房	大腸	肺	胃	子宮
がん死亡数	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）

がん罹患数とは？

新たにある病気（がん）と診断された人の数

早期発見で守れる命があります。

乳がんは早期発見がカギです。乳がんは、進行が遅いことが多いため、早期に発見すれば命を救えるがんです。そのためにも、定期的に乳がん検診を受けることが大切です。

特にマンモグラフィは、唯一「死亡率を減少させる効果」が証明されている検査です。

5年相対生存率

99.3%

早期発見した場合
(ステージⅠ)

5年相対生存率

39.3%

発見が遅れた場合
(ステージⅣ)

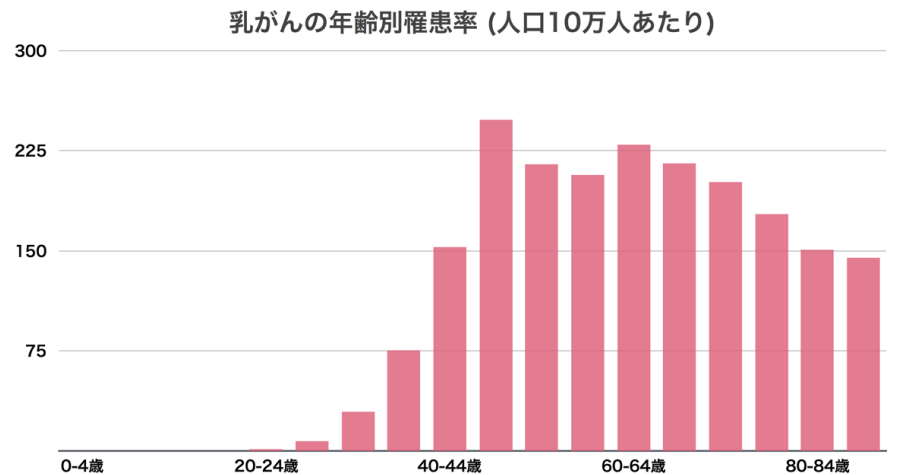
出典：全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告
(国立 研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020)
独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費
「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書

マンモグラフィについて詳しく知りたい方は右のQRコードを読み込んでみてくださいね。Web閲覧の方はQRコードをクリックしてください。



乳がん検診はいつ受けたら良いの？

乳がんは40代から急に発症が増え始め、特に40代後半と60～70代に多く見られます。これは閉経前後のホルモンバランスの変化が影響していると考えられています。乳がんは早期発見・早期治療がとても重要な病気です。症状がなくても、定期的に検診を受けることで安心につながります。



国立がん研究センターがん情報サービス
地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975年～2012年）

乳がんにかかりやすい人

次の項目に当てはまる方は、乳がんにかかりやすい傾向があります。
定期的な乳がん検診を受けましょう。

- ☐ 家族に乳がんや卵巣がんを患った人がいる
- ☐ 初産が30歳以上
- ☐ 出産・授乳の経験がない、または少ない
- ☐ 閉経後に体重が増えた
- ☐ 飲酒や喫煙の習慣がある

どのような検査をするの？

乳がん検診では、年齢に応じて次のような検査を行います。

40歳未満の方：乳腺エコー（超音波検査）をおすすめしています。

※特に40歳以下の女性は、乳腺と呼ばれる乳房の組織がぎっしり詰まっていて密度が高いため、マンモグラフィでは病気を見つけにくいことがあります。

40歳以上の方：マンモグラフィ（乳腺X線検査）をおすすめしています。

※厚生労働省は統計上、費用対効果の高い2年に1回の乳がん検診が推奨しています。

予約方法 >>>

お電話又は来院による予約制となります。

菊川市立総合病院 健診センター ☎（0537）36－5585